

関西電力グループ 中期経営計画 (2019-2021)

当社グループは、2019年3月、新たな中期経営計画を策定しました。この新しい計画における目標の達成に向けて、「総合エネルギー・送配電事業」「情報通信事業」「生活・ビジネスソリューション事業」の各事業で取り組みを着実に進めていきます。

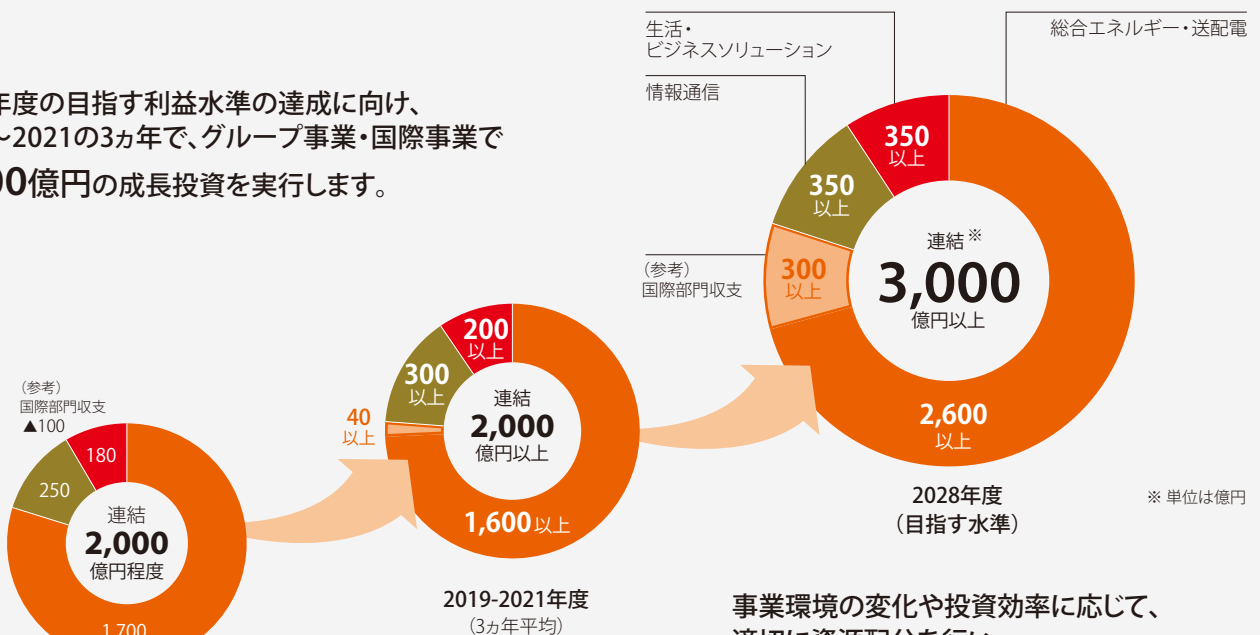


財務目標

	経常利益	自己資本比率	ROA
2019~2021年度	3カ年平均 2,000 億円以上	20 %以上	3カ年平均 3.0 %以上
2028年度	3,000 億円以上	30 %以上	4.0 %以上

今後の事業ポートフォリオのイメージ(経常利益の水準)

2028年度の目指す利益水準の達成に向け、2019~2021の3カ年で、グループ事業・国際事業で**5,500億円**の成長投資を実行します。



事業環境の変化や投資効率に応じて、適切に資源配分を行い、柔軟に事業ポートフォリオを見直します。

※ 連結の目標値は、連結決算上の相殺消去等を行った後の数値

めざす姿と取組み

総合エネルギー・送配電事業

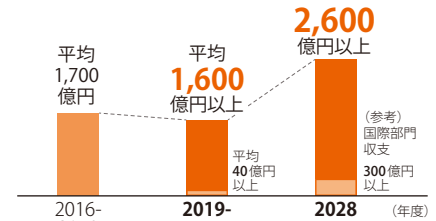
総合エネルギー事業

総合エネルギー事業全体での最適化に向けた取組みを加速し、エネルギー分野における日本のリーディングカンパニーとしてゆるぎない地位の確立を目指します。

主な取組み

- デジタル技術も最大限活用したコスト構造改革推進
- 電源の低炭素化に向けた取組み(原子力・再生可能エネルギー)
- 競争環境等を踏まえた、収益拡大に資する販売戦略の強化

経常利益(総合エネルギー※・送配電事業)



※ 総合エネルギー事業、エンジニアリングソリューション事業、国際事業

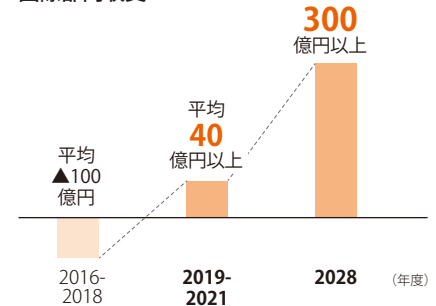
国際事業

世界のエネルギービジネスの変化を迅速かつ的確に捉え、事業参画地域に根を張りながら、高い付加価値を創出し、グローバルに事業展開します。

主な取組み

- 規制事業等の安定収益源構築、開発初期段階での参画等による収益性向上
- 建設中プロジェクトの確実な推進による収益拡大
- デジタル技術等の新技術の獲得と、その活用による資産価値向上
- ESG・SDGsの世界的広がりを見据えた再エネプロジェクトの組成・参画
- 「グローバル人財」のさらなる育成と、グループ大での連携強化等の取組み

国際部門収支



送配電事業

送配電事業の中立性・公平性を確保し、安全に安定した電気を低廉な価格でお客さまにお届けし続けることに加え、新たなサービスを創出し、地域社会と共に発展していきます。

主な取組み

- 「安全」「安定」「低廉」な電気をお届けし続けるための経営基盤の強化
- 中長期の環境変化・成長機会を見据えた事業領域の拡大

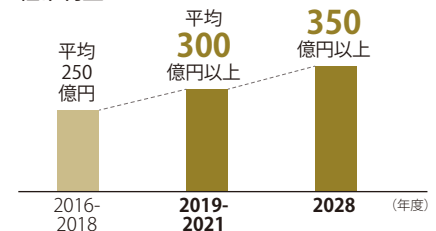
情報通信事業

顧客基盤強化と付加価値サービス創出により、全国のお客さまに選ばれる情報通信事業者を目指します。

主な取組み

- デジタル化ニーズに対応した新ソリューションの創出
- 「eo光」および「mineo」における顧客基盤の維持・拡大
- アライアンス等も活用した事業領域拡大と新規ビジネスの創出

経常利益



生活・ビジネスソリューション事業

生活とビジネスのお役立ちサービス提供により、当社グループへの信頼醸成とグループ収益拡大に貢献します。不動産分野では、賃貸・分譲・フィービジネスをバランスよく組み合わせ、あらゆる不動産ニーズにお応えする「総合不動産事業グループ」を目指します。

主な取組み

- デジタル技術を活用したヘルスケアサービスの拡充・強化
- 不動産分野でのブランド力強化やアセットマネジメント事業の拡充

経常利益 ※ 不動産事業における特別損益を含む

